

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

第16回 データビジネス創造コンテスト本選発表会 結果発表 — Digital Innovators Grand Prix 16 (DIG16) — 東京理科大学「チームコルテ」が最優秀賞を受賞

慶應義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ（代表：村井 純）は、株式会社一休（代表取締役社長：榎 淳）のサポートのもと、「第16回 データビジネス創造コンテスト—Digital Innovators Grand Prix 16（略称：DIG 16）—」を実施し、その本選発表会・審査会・表彰式を3月11日（土）に慶應義塾大学 三田キャンパスにてハイブリッド方式で開催いたしました。

1. 趣旨

本コンテストでは、「『1/365 人の住民』の獲得施策」をテーマに、旅行サイトの予約データや口コミデータを分析して、少子高齢化と若者の都市圏への流出により20～39歳の女性の数が半分以上減少する消滅可能性都市に「1年のうち1泊（1/365）の住民」として観光客を呼び込むアイデアや施策を募集しました。

データ活用がもたらすビジネス機会がますます増える中、テクノロジーやデータを活用できる人材が不足しているために、解決されていない課題がたくさんあります。本コンテストでは、幅広い年代の学生たちに、データ分析を通じて社会課題への理解を深め、解決策を提案する機会を提供します。その結果、データを活用できる人材の育成を目指します。

2. 実施概要

■ テーマ（目的）

「『1/365 人の住民』の獲得施策」

■ 本選発表会・審査会・表彰式

日時：2023年3月11日（土）13:30～18:20（開場 13:00）

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール（オンラインとのハイブリッド方式）

■ 応募資格

日本の高等学校、高等専門学校、大学、大学院の正規課程に所属する生徒・学生

■ 本選審査基準

予選結果に加え、「データ活用性」、「提案施策の有用性」、「プレゼンテーション」の3つの基準をもとに審査を行いました。

■ 審査員長

村井 純 慶應義塾大学 教授

■主催

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ

■ビジネスパートナー

株式会社一休

3. 審査結果

今回は、34 チームから参加の申し込みがあり、そのうち 23 チームが予選にエントリーしました。予選審査を通過した 10 チームが本選発表会で最終プレゼンテーションを行いました。

■最優秀賞（賞金 20 万円）

チーム名：チームコルテ（東京理科大学）

テーマ：「－現代に蘇れ－ 新・風土記」



■優秀賞（賞金 10 万円）

チーム名：JR 志村 (Japan Reinvigorate)（創価大学）

テーマ：「消滅可能性都市で若者のデジタル疲れを減らす
一休のサブブランド『ちゅらか』によるメタバースを
通した日本の魅力の再発見」



■一休賞（賞金 5 万円）

チーム名：#ひとやすみ。（専修大学）

テーマ：「FEMTABI 優しい旅がモテる時代」



■未来創造賞（賞金 5 万円）

チーム名：こしガーヤ（武蔵野大学・立正大学）

テーマ：「D I G Discover Invisible Goodness 無価値の価値化」



■審査員特別賞（賞金 5 万円）

チーム名：藤代ファンクラブ（専修大学）

テーマ：「ホクシンヘルシージャーニー」



■高校生部門賞（賞金 5 万円）

チーム名：勝ちまくり同盟（国際基督教大学高等学校）

テーマ：「PINT 人と人の心をつなぐアプリ」



■入賞チーム（ファイナリスト） ※発表順

SparK（専修大学）

勝ちまくり同盟（国際基督教大学高等学校）

JR 志村 (Japan Reinvigorate)（創価大学）

#ひとやすみ。（専修大学）

チーム B（専修大学）

チームコルテ（東京理科大学）

こしガーヤ（武蔵野大学・立正大学）

藤代ファンクラブ（専修大学）

MONJYA（専修大学）

VAT（東北大学・宮城学院女子大学）

詳細は、公式サイトをご覧ください。

第 16 回データビジネス創造コンテスト 公式サイト <https://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/dig16/>

【本コンテストに関する問合せ】

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局 E-mail : dig-info@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail : kri-pr@sfc.keio.ac.jp